

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況		H29年度時点での総合評価及び課題	評価		
食料施策 第1項 消費者が安心できる安全な農産物の提供体制の構築と産地情報等の提供 P40	(1)生産者による食の安全性確保の取組の拡大と信頼感の醸成	①生産・流通過程における農作物の安全性の確保	LP 2	安全・安心な農産物生産を促進する認証制度の普及促進	農林課	○県が認定する「エコファーマー」(※1)及び「持続性の高い農業生産方式の導入計画」の申請勧奨 ○国の事業である「環境保全型農業直接支払交付金」の取組 エコファーマー : 11件 (H28実績 11件) 環境保全型農業(※2)者 : 4件 (H28実績 5件)	①農産物を出荷している農家の農薬の適正使用や適正管理状況についての把握は不十分である。 県が認定する「エコファーマー」及び「持続性の高い農業生産方式の導入計画」の認定者が確保されている。 ②未実施	可
		②農作物の安全性に関する消費者理解の促進	P64					
	①生産・流通過程における農作物の安全性の確保	審議会の意見	○農薬使用について、住宅地に近いところでは事前に周知するなど、「住宅地等における病虫害防除等に当たっての遵守すべき事項」に従って行うことを望む。 ○農業使用者及び市民の農薬についての知識を高め、安全な農産物の提供体制の構築に努めること。 ○エコファーマーのPR等を多くし、育成に努めることを望む。					
食料施策 第2項 学校・家庭・社会教育機関・地域社会等が連携した農と食の知識の普及 P43	(2)加工・流通事業者による食の安全性確保の取組の拡大と信頼感の醸成	①食品加工過程における安全性の確保	LP 1	食関連事業者と消費者との連携	観光交流課 農林課	○信州千曲ブランドバスツアー開催 開催日：H30.2.20 場所：第一給食センター、(株)長野サンヨーフーズ、高村商店、エムケー精工(株)、和カフェよろづや、長野銘醸 参加者：22名 ○(有)中村ファームが農場HACCP(※3)認証農場として経営している(H26.5.29より)	①②信州ブランドバスツアーにおいて、食品加工過程の透明性の確保が促進されているといえる。また、市民レベルで安全管理に対する一定の意識を持っていると想定される。(H29市民満足度調査で「安全・安心」は満足度の平均スコアが高く、32項目中6位) ①農場HACCP認証農場は県内でも5件しか例がなく、優良な事例である。	可
		②食品加工・流通過程の安全性に関する消費者理解の促進	P64					
	①食品加工過程における安全性の確保	審議会の意見	○食品加工過程や流通過程の食の安全性を理解・促進するため、千曲ブランドバスツアーを行っているが、対策として十分とは言えない。より安全性の理解・促進を図るための仕組みを検討すること。					
食料施策 第2項 学校・家庭・社会教育機関・地域社会等が連携した農と食の知識の普及 P43	(1)千曲市の農と食への理解の促進	①食卓と農業をつなげる食育・体験の推進	LP 3 P65	千曲市の食材活用と農業体験・伝統食の普及推進	農林課 健康推進課	○保育園児によるさつまいも農業体験 H29.5.29定植体験、H29.10.10収穫体験 ○たまねぎ祭り H29.6.10更埴たまねぎ祭り、戸倉たまねぎ祭り ○H29.6.11小船山たまねぎ収穫体験 ○五加小学校児童たまねぎ農業体験 H29.6.6収穫体験、H29.9.11播種体験、H29.11.15定植体験 ○屋代・東小学校たまねぎ農業体験 H29.6.7収穫体験、H29.11.15定植体験 ○大田原農業体験 H29.7.29そばの播種、H29.8.20土寄せ、H29.9.3そばの花見、H30.2.18そば打ち体験 ○大田原農業体験をきっかけとして、大田原地区未来構想アドバイザーを設置した。(H29.2.17より) ○食農教育地域リーダー認定者向けの学習会(全4回)を開 ○該当なし	保育園児、小学生はじめ、農業経験の少ない市民向けの農作業体験を市民、事業者、行政等の協働により実施している。 信州ブランドバスツアーにおいて、食品加工過程の工場見学を行っている。 食農教育地域リーダーを養成するかけはしの会の活動を支援(市が事務局)し、定期的な文化祭や郷土料理講習会などが実施されている。	良
		①食卓と農業をつなげる食育・体験の推進	審議会の意見					

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性		具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況		H29年度時点での総合評価及び課題	評価	
食料施策 第2項 学校・家庭・社会教育機関・地域社会等が連携した農と食の知識の普及 P43	(2)健康的な食生活の推進	①食と健康についての理解と実践の推進		健康推進課	○乳幼児健診時において、乳幼児の健康と食生活について、集団及び個別で栄養指導を実施 ○食生活改善推進協議会の育成 ○生活習慣病予防と重症化予防のための、個別栄養指導等の実施	健康アップ千曲21・食育推進計画の第2次計画の目標である「生活習慣病予防と重症化予防」につながる食育推進事業を実施している。	良	
	(3)地域密着型食生活と地域の食文化の継承	①地域密着型食生活と地域の食文化の継承の推進	LP17 P72	食・農に関わる女性による地域活性化	農林課	○千曲市食ごよみを活用した郷土食の普及や伝統文化の伝承を目的として郷土料理講習会を開催 郷土料理講習会：5回実施 ○第9回千曲市食の文化祭開催 開催日：H30.1.28 会場：戸倉創造館 来客者：約550名（H28約600名） ○信州ちくま食の風土記の刊行（市内書店にて販売中）	市内各団体(かけはしの会等)により伝統食の継承や地域の農産物を使用したメニューの実践がされている。 また、千曲市食ごよみや、食と農のリーダー育成手引き、信州ちくま食の風土記、食の文化祭などを実施、活用することで地域に密着した食文化の継承を図っている。(H29市民満足度調査で「食文化」は満足度の平均スコアが高く、32項目中4位)	優
		①地域密着型食生活と地域の食文化の継承の推進	審議会の意見			○食生活や食文化の継承のための指導者（リーダー）を引き続き確保すること。 ○子供の調理指導における各主体の役割について議論する場を、学校、家庭、社会教育機関、地域社会と連携して用意することを望む。		
	(4)給食への地場産農産物利用の拡大	①給食センター等と生産者・事業者との連携 ②給食センター等と生産者・事業者との連携による供給量の拡大 ③学校給食と食育の連携	LP4 P65	「保育園・給食センター」と「生産者・食関連事業者」との連携	学校給食センター 保育課	○学校給食の食材は、出来る限り千曲市産の農産物を使用するよう努めており、JA、青果商組合、市農林課等で構成する「千曲市学校給食に係る地元農産物等利用促進連絡協議会」（出席者 15名）をH30.3.29に開催し、情報共有や今後の課題等について議している。 また、五加小学校では自身で収穫した玉ねぎを利用し、給食のメニューとすることで、食育の理解促進に努めている。(H29.6.14) <市内農産物使用率> 第1給食センター 37.01% (H28実績35.15%) 果樹28.73%、野菜6.90%、きのこ100%、米飯95.00% 第2給食センター 36.34% (H28実績38.50%) 果樹21.88%、野菜8.33%、きのこ100%、米飯95.00% ○市内各保育園において、野菜類等の農業体験と共に自園で栽培、収穫したものを使用しての給食及び調理・会食体験を実施	①②例年、給食センターの市内産農産物使用率は横ばいとなっている。りんご、ぶどうやきのこは使用率が高いが、野菜の使用率が低い、まとまった量かつ同一規格の農産物を準備するのが難しい、給食費は減少傾向であり、仕入れ価格の問題等の課題がある。一方で、使用率を上昇させ、食育の充実につなげる必要性もある。 ③五加小学校、屋代小学校、東小学校においてはたまねぎ栽培体験が行なわれ、食育への理解を深める取り組みが行なわれている。 市内各保育園においても、農業体験が行われ、収穫したものを使用しての給食及び調理・会食体験をととして、食育への理解を深める取り組みが行なわれている。	可
	①給食センター等と生産者・事業者との連携	審議会の意見			○学校給食の地元産野菜使用率を高めるため、メニューの一部を低学年と高学年で変えるなどの工夫をして、同じものを一時に使うのではなく、分散するようにすることで、生産者が出荷しやすくなることなどを、検討されたい。			
食料施策 第3項 農産物の地域内での流通と消費の促進 P46	(1)事業者・市民の自発的な「千曲市産農産物」の利用の促進	①千曲市産農産物利用の促進 ②千曲市産農産物の生産者グループの育成	LP3 P65	千曲市の食材活用と農業体験・伝統食の普及推進	農林課 産業振興課	○千曲市食ごよみを活用した郷土食の普及や伝統文化の伝承を目的として郷土料理講習会を開催 郷土料理講習会：5回実施 ○第9回千曲市食の文化祭開催 開催日：H30.1.28 会場：戸倉創造館 来客者：約550名（H28約600名） ○元気づくり支援金事業を活用してあんず加工を行う任意団体が商品開発や加工場の改修などを行った。 1件	①食の文化祭において、千曲市産農産物のPRや千曲市産農産物を使用した郷土食の普及活動を実施している。 ②食と農を結ぶ「かけはしの会」の活動が普及し、定期的な文化祭や郷土料理講習会などが実施されている。 あんずの加工を行う任意団体に対し支援を行っている。	可

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価	
食料施策 第3項 農産物の地域内での流通と消費の促進 P46	(2)千曲市産農産物の販売・利用の促進	①販売拠点づくりと経営の高度化	観光交流課 農林課	○首都圏をはじめとした市内外で、信州千曲ブランドとして17回の出展を実施 ○ふるさと納税の返礼品として市内産農産物及び加工品を提供することにより、販路拡大のためのPRを実施。りんご 2853件、ぶどう 787件、あんず(生食、加工品) 348件 ○千曲川青空市(開催日5/7~11/5)の日曜日6:00~8:00 ○やまぶき市(開催日7/7~12/8)の第1と第3金曜日の7:30~16:00頃 ○千曲市産農産物の販売 東京都ムサコマルシェ(開催日10/28~29)、愛媛県宇和島市(開催日11/11~13)千葉県横芝光町(開催日11/19)神奈川県松田町(開催日11/26) ○県が認定する「エコファーマー」及び「持続性の高い農業生産方式の導入計画」の申請勧奨 ○国の事業である「環境保全型農業直接支払交付金」の取組 エコファーマー : 11件(H28実績 11件) 環境保全型農業者 : 4件(H28実績 5件) ○(有)中村ファームが農場HACCP認証農場として経営している(H26.5.29より) ○手づくり工房「夢麺」など合計5件の地元農産物加工組織が食品の開発や販売を行っている。	①スーパーなどの中に地場産コーナーが設けられている。また、地元生産者団体等による市も開催されている。 ふるさと納税の返礼品として市内産農産物及び加工品を提供することにより、販路拡大のためのPRを実施している。 ②県が認定する「エコファーマー」及び「持続性の高い農業生産方式の導入計画」の申請勧奨を行っている。 ③信州千曲ブランドの加工品販売拡大のためのPRを行っている。	可
		②安全・安心な千曲市産農産物の利用促進				
	②安全・安心な千曲市産農産物の利用促進	審議会の意見 ○戸倉上山田温泉の旅館やホテルごとに経営の考え方はあるが、四季に応じた地元食材の料理を提供するよう、行政から提案願う。				
農業施策 第4項 農業の担い手の確保と育成 P49	(1)規模拡大・経営改善の意欲を持った担い手(効率的・安定的経営体)の育成	①意欲的な農業者の経営改善の支援	農林課	○農業経営改善計画認定制度により、意欲ある担い手の計画を認定。 ・29年度認定件数=6件(うち新規4、更新2) ・29年度末における有効な認定件数=29件 ○担い手の規模拡大を後押しする施策として、営農支援センターによるアグリサポーターの紹介事業を引き続き実施。 ・サポーター登録者=47名 ・延べ作業時間=22,204時間 ○営農集団の法人化による経営高度化を支援 ・1件(農事組合法人ちくま興農) ○農業制度資金利子助成補助金により、規模拡大を支援 ・9件、利子助成額=389,636円 ○農地中間管理機構と連携して、担い手農家に対して0.7haを集積した。 ○新たに13人の担い手を地域の中心となる経営体として人・農地プランへ追加した。(合計62名)	①認定農業者制度の取り組み増進を行い、意欲的な農業者の支援を実施。アグリサポーター紹介需要に対し、サポーターの確保が追いつかない。 ②制度資金利子補給等を活用し、育成支援を実施。営農集団法人化による経営高度化を支援。 ③農地集積奨励補助金交付事業を活用するとともに、農地の斡旋、農地中間管理事業においてマッチングを行い、農地利用集積を進めている。	良
		②企業的な農業経営体の育成支援				
	③意欲的な農業者の規模拡大の支援	審議会の意見 ○認定農業者のメリットが薄いため、認定者の確保が困難である。メリットの充実を県や関連団体にはたらきかけること。				

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価	
農業施策 第4項 農業の担い手の 確保と育成 P49	(2) 多様な担い手 による農業の継 続と農地の保全	①地域農業を担 う経営体の育成 支援	LP 7 P67 多様な担い手 の農業参加と 育成支援	農林課 ○米から他作物への転作により、市内の46% (H29: 水田面 積833ha中※H28は45%) の水田が麦や大豆、そばなどの需要 の高い農産物の生産地として活用されている。 ○農業次世代人材投資事業 (旧: 青年就農給付金事業) 経 営開始型の交付による、新規就農者支援 ・交付実績=9組10名 ・交付額=15,750,000円 ○就農相談会 (長野県市町村JA合同就農相談会@新宿 (8/26)、野菜花卉の就農相談会@新宿 (11/25)、UIJター ン応援フォーラム@東京 (2/4)) に参加し、相談対応を実 施 県外相談会 相談者 5名 農林課随時 相談者 5名 新規就農者 1名 (H28実績 3名) ○市民農園の運営により、市民が農作業に関わりやすい環境 を整備している。 ・利用実績=258区画、193名 ○姨捨の棚田オーナー制度 体験コース67組、保全コース22組 H29. 5. 27田植え、H29. 9. 24稲刈り、H29. 10. 18脱穀	①集落営農組織の法人化による経営体質の強化の支援、経営所得安定対策事業 の実施により、水田における麦、大豆、そば、果樹、花卉などの生産を促進、経営体 の所得向上を支えている。 ②就農相談会を実施すると共に農業次世代人材投資事業経営開始型交付金の交 付による支援を実施し、新たな担い手農家の確保を進めている。 ③市の助成金活用(省力化栽培実施果樹改植の実施)により、省力化栽培の普及 に努めている。 ④アグリサポーター制度の継続して実施されている。また、各種農業体験、棚田 オーナー制度、市民農園により、農地の担い手の確保を進めている。	良
		②新しい担い手 の確保・育成				
		③高齢者の営農 の支援				
		④農作業に関わ る市民の拡大	LP 8 P67 新規就農者支 援			
	②新しい担い手 の確保・育成	審 議 会 の 意 見	○新規就農者を確保するためには住環境の確保が欠かせないため、住まいの提案まで 含めて就農相談が受けられるよう、環境整備に努めること。 ○新規就農者には、農薬や化学肥料を使用しない、安心・安全な農業環境を求める層 もあるため、受入れる地域の整備に努めること。 ○アグリサポーターの人材不足が顕著であるため、人員の確保に努めること。			
	④農作業に関わ る市民の拡大					
(3) 女性農業者が 活躍できる地域 づくり	①女性団体の分 野横断的なネッ トワーク化 ②女性リーダー の育成 ③農業における 女性の地位の確 立 ④固定的役割分 担意識の解消	LP17 P72 食・農に関わ る女性による 地域活性化	農林課 ○地域の食文化、食と農のつながりを学ぶことを目的とした 「かけはしの会」による「郷土料理講習会」「箱膳体験」等 各種活動の実施。 郷土料理講習会: 5回実施 箱膳体験: 15回実施 ○食農教育地域リーダーの85%以上が女性リーダーである。 (H29: 86%) ○食農教育地域リーダー認定者向けの学習会 (全4回) を開 催して、知識や技術を高めた。	①②食と農の文化伝承講座修了者を中心として組織された「かけはしの会」により、 郷土食普及活動、箱膳体験、文化伝承等が行なわれ、地域における先導的な役割 が果たされている。なお、女性の参加率は非常に高く85%以上は女性である。 ③④家族経営協定のみならず、農業活動において家族ぐるみで取り組むことの更なる 推進は必要。千曲市は食農教育はじめ女性の活動が非常に目覚ましく、市民が 独自の団体等(かけはしの会、農業体験団体など)を組織して活動しており、継承さ れている。	良	
			人権・ 男女共 同参画 課 ○男女共同参画社会のリーダーを育成し、スキルアップを図 るため、一般市民向けの「男女共同参画セミナー (全6回) を開催した。			
	③農業における 女性の地位の確 立	審 議 会 の 意 見	○地域の就農状況は半数以上が女性であり、農業経営のために女性の役割は欠かせない。 営農面や公の会議における女性参画など、女性が活躍できる場の確保に努めること。			

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性		具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況		H29年度時点での総合評価及び課題	評価
農業施策 第5項 農業経営の高付 加価値化と安定 化の支援	(1)ブランド構築 と異分野連携に よる付加価値の 創出	①信州千曲ブラン ド認定制度の 活用	LP 5 P66 多様な販売手 段を活用した 販路の拡大	観光交 流課	○認定制度の認知度向上のため、市内外で17回出展を実施 市内5回、長野市5回、東京等7回 68業者	①市内外に向けて千曲ブランドの販売等のPR活動を行なうことで、推進され、認知 度の上昇に繋がっている。 ②6次産業化の推進について、事業者や市により、販路の開拓が実施されている。 (千曲ブランド商品)農業者レベルによる加工品の商品化について、活発に実施され ていないことが課題。	可
		②農業の6次産 業化の推進		産業振 興課 農林課	○元気づくり支援金事業を活用してあんず加工を行う任意団体が 商品開発や加工場の改修などを行った。1件 ○農業法人32件(農林業センサス2015)		
P52	(2)バランスのと れた生産による 収益の確保	①産地としての 収益性の向上	LP10 P68 果樹・花卉・ 野菜等の栽培 技術向上及び 品種改良等に 関する取組支 援	農林課	○米から他作物への転作により、市内の46%(H29:水田面 積833ha中※H28は45%)の水田が麦や大豆、そばなどの需要 の高い農産物の生産地として活用されている。 ○食料・農業・農村振興対策事業補助金の活用 ・あんず振興事業・・・苗木等購入に対しての助成 12件 673,000円 (H28実績 14件 757,000円) あんずの生食品種「ハーコット」のプレミアム化の検討の ため、品質調査試験、成分分析、貯蔵試験、食味評価試験を 行った。 ・果樹改植事業・・・新品種の苗木購入・抜根・整地等、低位 開発園再開発にかかる費用を助成 4件 109,000円 (H28実績 12件 738,000円) ・ワインぶどう振興事業による、圃場整備や苗木に関する助 成 3件 1,360,000円 (H28実績:9件 1,308,000円) ・花卉振興事業・・・花卉栽培者の経営安定と所得安定のため、 新技術導入や新品種の栽培試験等の助成 1件 1,000,000円 (H28実績 1件 600,000円) ○千曲農業振興地域整備計画随時見直し ・農用地区域除外 6件8,346.49㎡ ・軽微変更 4件 553.07㎡ ・編入 0件 0.00㎡ ○千曲農業振興地域整備計画総合見直し (H30公告予定) ・編入 25,431.00㎡ ・除外167,935.39㎡	集落営農組織の法人化による経営体質の強化の支援、経営所得安定対策事業の実 施により、水田における麦、大豆、そば、果樹、花卉などの生産を促進、経営体の所得 向上を支えている。 国土利用計画や都市計画との整合を取りながら、農業振興農地整備計画の総合見直 しを行った。特に大型の開発案件と農業振興の調和をどのように担保していくかが課題 である。	可
		①産地としての 収益性の向上	審議 会の 意見		○あんずは生産量が少ないが、その希少性が十分に価格に反映しているとは言えない ため、プレミアム化について推進することを望む。 ○農業経営の高付加価値化と安定化の支援のため、農業経営のモデルケースを示し、 公開することを望む。		
	(3)研究課題の掘 り起こしと研究 機関とのマッチ ング	①研究課題の掘 り起こしと研究 機関とのマッチ ング ②産学官連携 コーディネート 体制の充実	LP 9 P68 地場農産物を 活用した新商 品の開発と提 供	農林課 産業振 興課	○あんずの生食品種「ハーコット」のプレミアム化の検討の ため、品質調査試験、成分分析、貯蔵試験、食味評価試験を 行っており、首都圏における一定のニーズがあるとの心証を 得た。次年度以降事業化し、成分分析等を進める。 ○清泉女子短期大学コミュニケーション課とフィールドワー クを行った。農業体験及び加工体験を通して世代を超えた人 間関係作りや地域社会と交流を図った。 5/14あんず摘果体験 生徒10名 7/1あんず収穫及びシロップ漬け体験 生徒10名	①あんずのプレミアム化の検討会を実施し、首都圏における流通に向けて一定の ニーズがあるとの心証を得たため、実需者、消費者等にプレミアムあんずの魅 力、セールスポイントを何にするか明確化し、それを基準化し、品質、基準を保証す る必要がある ②大学と産学官連携パートナーシップ協定を結んでいる。	可

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価																					
農村施策 第6項 多面的機能を十分に発揮させるための生産基盤の保全と維持管理	(1)農用地の計画的な利用	①農用地区域の設定	LP 6 P66 耕作農地の集約化による担い手の育成 農林課	○米から他作物への転作により、市内の46%（H29：水田面積833ha中※H28は45%）の水田が麦や大豆、そばなどの需要の高い農産物の生産地として活用されている。 ○千曲農業振興地域整備計画随時見直し ・農用地区域除外 6件 8,346.49㎡ ・軽微変更 4件 553.07㎡ ・編入 0件 0.00㎡ ○千曲農業振興地域整備計画総合見直し（H30公告予定） ・編入 25,431.00㎡ ・除外167,935.39㎡	集落営農組織の法人化による経営体質の強化の支援、経営所得安定対策事業の実施により、水田における麦、大豆、そば、果樹、花卉などの生産を促進、経営体の所得向上を支えている。 千曲農業振興地域整備計画に沿った土地利用が推進されている。 国土利用計画や都市計画との整合を取りながら、農業振興農地整備計画の総合見直しを行った。特に大型の開発案件と農業振興の調和をどのように担保していくかが課題である。	良																				
		②土地利用の高度化																								
		①農用地区域の設定	審議会の意見	○土地利用計画において、各地区に応じた耕作地や耕作放棄地を把握し、棚田や果樹地帯など各地区に応じた、農業振興策を検討すること。																						
P55	(2)農業生産基盤の整備開発	①地区の特性に即した土地基盤整備及び開発	LP14 P70 土地基盤整備の促進 農林課	○多面的機能支払交付金（資源向上支払交付金～共同～） 実施組織：大田原水と緑を守る会、森あんずの里みどり会、大池地区農地景観を守る会、弥勒寺地区環境保全の会 実施面積：68.26ha 交付金額：1,345,440円 農道・水路の点検、軽微な補修（目地詰めなど）を各組織で実施。 平成29年度 土地基盤整備の改修 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>農業基盤整備促進事業 仙石地区3・8号線農道改良工事</td> <td>羽尾</td> <td>農道改良 L=94m</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>佐野地区農地災害復旧工事</td> <td>桑原</td> <td>L=7m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>姨捨棚田地区農地災害復旧工事</td> <td>八幡</td> <td>1工区L=16m 2工区L=12m</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>台風16号豪雨災害復旧事業 大田原地区田畦畔復旧工事</td> <td>桑原</td> <td>農地復旧 L=29m</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>台風16号豪雨災害復旧事業 小坂地区田畦畔復旧工事</td> <td>桑原</td> <td>農地復旧 L=11m</td> </tr> </table>	1	農業基盤整備促進事業 仙石地区3・8号線農道改良工事	羽尾	農道改良 L=94m	2	佐野地区農地災害復旧工事	桑原	L=7m	3	姨捨棚田地区農地災害復旧工事	八幡	1工区L=16m 2工区L=12m	4	台風16号豪雨災害復旧事業 大田原地区田畦畔復旧工事	桑原	農地復旧 L=29m	5	台風16号豪雨災害復旧事業 小坂地区田畦畔復旧工事	桑原	農地復旧 L=11m	整備時期、現地の状況などにより随時改修・補修等が実施されている。 また、多面的機能支払事業により、地域が独自で軽微な修繕等に対応している。（4組織：森、大田原）	良
1	農業基盤整備促進事業 仙石地区3・8号線農道改良工事	羽尾	農道改良 L=94m																							
2	佐野地区農地災害復旧工事	桑原	L=7m																							
3	姨捨棚田地区農地災害復旧工事	八幡	1工区L=16m 2工区L=12m																							
4	台風16号豪雨災害復旧事業 大田原地区田畦畔復旧工事	桑原	農地復旧 L=29m																							
5	台風16号豪雨災害復旧事業 小坂地区田畦畔復旧工事	桑原	農地復旧 L=11m																							
	(3)農業経営の規模拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進	①農業経営基盤強化促進事業	LP11 P69 千曲市水田フル活用 農林課	○集団転作のためのブロックローテーションを実施（全4区域）。 ○営農集団の法人化による経営高度化を支援 ・1件（農事組合法人ちくま興農） ○ワインぶどう植栽促進事業 2件 48a ○遊休農地解消対策事業 4件 51a ○農地中間管理機構と連携して、担い手農家に対して0.7haを集積した。 ○新たに13人の担い手を地域の中心となる経営体として人・農地プランへ追加した。（合計62名）	①経営所得安定対策で耕作農業者対し助成を行うと共に、千曲市農業再生協議会において平成29年度以降も集団転作のブロックローテーションを維持する事が決定し、担い手農家の作業効率化・生産性の向上が図られている。 ②遊休農地・荒廃農地発生抑制のため、農地利用最適化推進委員と連携し、農地パトロール及び農地相談会実施、継続している。 ③ワインぶどう植栽事業や遊休農地解消事業で遊休農地の有効活用を図っている。	良																				
②農地移動適正化あっせん事業		LP13 P70 地域ぐるみの農地保全・遊休農地の解消 農業委員会	○春と秋に農地パトロールの実施し、調査及び写真を記録し、個々の荒廃農地整理票を作成。 A分類（再生可能な荒廃農地） 31ha B分類（再生利用が困難と見込まれる農地） 303ha ○パトロール後に検討会を実施し委員から出された意見の集約及び次年度への取組みを検討。 農地マッチング 15件																							
③遊休・荒廃農地の解消による農地の有効利用																										

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価			
農村施策 第6項	(4) 農業近代化施設 の整備	①機械化一貫体系の構築のための 作目の統一	農林課	○営農集団の法人化による経営高度化を支援 ・1件（農事組合法人ちくま興農） ○共同によるりんご用スピードスプレーヤー購入費に補助を 行っている 実績：1件 ○産地パワーアップ事業を活用し、7件に対しぶどう用冷蔵 庫を導入し、ぶどうの産地化を促進した。	①営農集団の法人化により経営高度化を支援する体制を整備している。なお、次年度にファーム西部の法人化を予定している。 ②農業機械購入費や施設費に対し補助を行い、農作業の機械化や効率化、施設の整備を進めている。	可		
多面的機能を十分に発揮させるための生産基盤の保全と維持管理		②作目にあわせた機械化・施設化の推進						
P55	(5) 土壌等の環境に 配慮した農業生産方式の普及	①環境にやさしい農業生産方式の普及・実践	LP 2 P64	安全・安心な農産物生産を促進する認証制度の普及促進	農林課	○国の事業である「環境保全型農業直接支払交付金」の取組 勸奨 エコファーマー : 11件 (H28実績 11件) 環境保全型農業者 : 4件 (H28実績 5件)	県が認定する「エコファーマー」及び「持続性の高い農業生産方式の導入計画」の認定者が確保されている。	可
農村施策 第7項	(1) 農業及び農村の 有する多面的機能に配慮した 農業への転換と理解の促進	①農業の近代化が 相当でない地域の農地の 保全・整備	LP13 P70	地域ぐるみの農地保全・遊休農地の解消	農林課 観光交流課	○多面的機能支払交付金（農地維持支払交付金） 実施組織： 大田原水と緑を守る会、森あんずの里みどり会、大池地区農地景観を守る会、荏沢農地を守る会、南沖農地を守る会、弥勒寺地区環境保全の会 実施面積：133.19ha 交付金額：3,573,900円 農地の草刈り、有害鳥獣柵の点検等を各組織で実施。	①多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業により、手入りに労力のかかる地域の保全・整備経費等の補填を実施。多面的機能の保全のため農地や農業用施設等の維持管理を実施している。直接支払制度の申請は、書類づくりや会議など役員の事務負担が大きく、活動組織が増加しないのが課題。姨捨棚田やあんずの里の景観保全に努めている。姨捨棚田では、保全団体の高齢化が課題となっている。 ②水路の清掃活動や修繕により生物の生態系を守る活動が実施されている。今後も推進活動が必要。	良
都市農村交流の推進と農業・農村の持つ多面的機能の理解の促進						○中山間地域等直接支払交付金 実施組織：11組織（大田原、中原、大池、南沖、名月会、荏沢、郡、羽尾、吉野、漆原・八坂、弥勒寺） 実施面積：149.58ha 交付金額：24,728,020円 ※中山間地域等直接支払交付金は耕作条件が不利であるため所得格差を是正するための支援 ○姨捨棚田の保存について、棚田保全推進会議を設置し、棚田貸します制度で約2.2haを保全団体の「姨捨棚田名月会」の指導のもと、体験コース67組、保全コース22組を受け入れている。この他にも、保全団体5団体で、約3.8haを耕作し、保全に努めている。 ○あんずの里のすばらしい景観を保持し、あんずの木を後世に残すため、管理保育経費の一部に補助を行った。192本 384,000円		

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性		具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況				H29年度時点での総合評価及び課題	評価																																																		
<p>農村施策第7項 都市農村交流の推進と農業・農村の持つ多面的機能の理解の促進 P58</p>	<p>(1) 農業及び農村の有する多面的機能に配慮した農業への転換と理解の促進</p>	<p>②生態系保全に配慮した農業用水路整備</p>	<p>LP12 農業用水利施設の改修 P69</p>	<p>農林課</p>	<p>平成29年度 農業用水利施設の改修</p> <table border="1" data-bbox="1142 352 1852 909"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>工事名</th> <th>工事箇所</th> <th>種別 工事概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>八坂地区水路改修工事</td> <td>新山</td> <td>水路工 L=138m</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>桑原西地区水路改修工事</td> <td>桑原</td> <td>水路工 L=69m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>八幡嬢捨地区水路改修工事</td> <td>八幡</td> <td>水路工 L=82m</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>柏王地区水路改修工事</td> <td>戸倉</td> <td>水路工 L=52m</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>柏王地区沈砂池設置工事</td> <td>戸倉</td> <td>水路改修工 L=13.5m</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>須坂地区水門製作設置工事</td> <td>須坂</td> <td>転倒ゲート製作 設置1式</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>中区大土井水門製作設置工事</td> <td>中</td> <td>鋼製スリットゲート 製作据付1基</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>三本木地区水路改修工事</td> <td>上山田</td> <td>水路工 L=71m</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>農業基盤整備促進事業 六ヶ郷地区水門製作設置工事</td> <td>上山田</td> <td>余水吐ゲート製作 据付1ヶ所</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>農業基盤整備促進事業 千曲地区倉科工区水路改修工事</td> <td>倉科</td> <td>水路改修工 L=109m</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>農業基盤整備促進事業 千曲地区雨宮工区水路改修工事</td> <td>雨宮</td> <td>水路工 L=113m</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	工事名	工事箇所	種別 工事概要	1	八坂地区水路改修工事	新山	水路工 L=138m	2	桑原西地区水路改修工事	桑原	水路工 L=69m	3	八幡嬢捨地区水路改修工事	八幡	水路工 L=82m	4	柏王地区水路改修工事	戸倉	水路工 L=52m	5	柏王地区沈砂池設置工事	戸倉	水路改修工 L=13.5m	6	須坂地区水門製作設置工事	須坂	転倒ゲート製作 設置1式	7	中区大土井水門製作設置工事	中	鋼製スリットゲート 製作据付1基	8	三本木地区水路改修工事	上山田	水路工 L=71m	9	農業基盤整備促進事業 六ヶ郷地区水門製作設置工事	上山田	余水吐ゲート製作 据付1ヶ所	10	農業基盤整備促進事業 千曲地区倉科工区水路改修工事	倉科	水路改修工 L=109m	11	農業基盤整備促進事業 千曲地区雨宮工区水路改修工事	雨宮	水路工 L=113m	12				<p>(前ページに記載)</p>	<p>(前ページに記載)</p>
No					工事名	工事箇所	種別 工事概要																																																				
1	八坂地区水路改修工事	新山	水路工 L=138m																																																								
2	桑原西地区水路改修工事	桑原	水路工 L=69m																																																								
3	八幡嬢捨地区水路改修工事	八幡	水路工 L=82m																																																								
4	柏王地区水路改修工事	戸倉	水路工 L=52m																																																								
5	柏王地区沈砂池設置工事	戸倉	水路改修工 L=13.5m																																																								
6	須坂地区水門製作設置工事	須坂	転倒ゲート製作 設置1式																																																								
7	中区大土井水門製作設置工事	中	鋼製スリットゲート 製作据付1基																																																								
8	三本木地区水路改修工事	上山田	水路工 L=71m																																																								
9	農業基盤整備促進事業 六ヶ郷地区水門製作設置工事	上山田	余水吐ゲート製作 据付1ヶ所																																																								
10	農業基盤整備促進事業 千曲地区倉科工区水路改修工事	倉科	水路改修工 L=109m																																																								
11	農業基盤整備促進事業 千曲地区雨宮工区水路改修工事	雨宮	水路工 L=113m																																																								
12																																																											
<p>①農業の近代化が相当でない地域の農地の保全・整備</p>	<p>審議会の意見</p>	<p>・あんずの保存木の実態の再把握と保存方法の再検討を行い、あんずの里の優良な景観の確保に努めること。</p>																																																									
	<p>(2) 地域が一体となった維持管理体制の構築</p>	<p>①地域資源を保全するための協働活動の支援 ②作業以外での協力体制の検討</p>	<p>LP13</p>	<p>農林課</p>	<p>農村施策第7項(1)と同様 ○ふるさと納税で納付された寄付金の一部を農業振興費に充当して執行した。</p>	<p>①多面的機能支払事業等において地域の農家から非農家まで含めた維持管理活動が実施されている。 ②作業以外で基金の募集等を行なう検討が必要。 ふるさと納税で、「嬢捨棚田保全事業」に支援いただいている。</p>	<p>良</p>																																																				
	<p>(3) 遊休荒廃農地の解消と拡大防止</p>	<p>①遊休荒廃地の実態把握 ②遊休農地の荒廃防止</p>		<p>農林課 農業委員会</p>	<p>○水田畦畔等の焼き払い作業の実施(H30.3.18) ・小坂区、上町区、嬢捨区、柏王区、城腰自治会、八坂自治会、新山自治会、漆原自治会、力石自治会 ・統一的な焼き払い作業の実施により。面的な荒廃農地の防止活動、火災等のリスクの少ない作業となった。 ○春と秋に農地パトロールの実施し、調査及び写真を記録し、個々の荒廃農地整理票を作成。 A分類(再生可能な荒廃農地) 31ha B分類(再生利用が困難と見込まれる農地) 303ha ○パトロール後に検討会を実施し委員から出された意見の集約及び次年度への取組みを検討。 農地マッチング 15件</p>	<p>①②遊休農地・荒廃農地発生抑制のため、農地利用最適化推進委員と連携し、農地パトロール及び農地相談会実施。 ②安全や作業効率を重視した水田畦畔等の焼き払い作業の継続的な実施が行われている。</p>	<p>可</p>																																																				

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価			
農村施策 第7項 都市農村交流の 推進と農業・農 村の持つ多面的 機能の理解の促 進 58ページ	(4) 鳥獣被害対策 の推進	①農業者への有害鳥獣対策の検討・指導	LP15 地域ぐるみの 有害鳥獣対策 農林課	○農作物被害を軽減する為、進入防止柵を設置した農業者に対し、補助金を交付した。 H29年度実績 6件 103,000円 ○猟友会会長から推薦を受け市で任命した被害対策実施隊員による駆除活動を通年実施した。 ・害鳥駆除1,063羽 イノシシ124頭 ニホンジカ152頭 小動物63頭 ○3月の毎日曜日に全地区一斉駆除を実施した。 ○継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、「協働の森」において、春と秋に植樹祭及び育樹祭を計画したが、雨天のため中止となった。	①防護柵の設置や、電柵助成、猟友会と連携した捕獲活動等の実施により対策の指導を行なっている。 ②固体調整を実施、年々捕獲頭数が増加している。継続して実施することが必要。 ③間伐の実施に加え、「協働の森」において市民を含めた里山維持に対する意識の向上活動を計画している。植樹祭、育樹祭は雨天のため、共に中止となったが、来年度も計画していく予定。 ④本年度新たな広域的な侵入防止柵の設置はなかったが、多面的機能支払事業で防護柵の維持修繕がなされている。	良		
		②有害鳥獣の個体数調整の実施					審議会の意見	・イノシシやシカなどの有害獣は、今後も増えることが予想されるため、処理方法を検討されたい。
		③有害鳥獣の生息環境管理						
		④有害鳥獣の被害防除						
		②有害鳥獣の個体数調整の実施						
	(5) グリーン・ツーリズムによる農業・農村の多面的機能への理解促進	①姨捨の棚田の活用	LP 7 P67 多様な担い手の農業参加と育成支援 農林課	○東京都の中学校（晴海中学校）を姨捨の棚田オーナー制度に受入れ。 ○都内観光会社（クラブツーリズム）を棚田農業体験に受入れ。 ○姨捨の棚田のガイドブックを更新・増刷し、市内施設、県外イベントにおいて配布・設置、棚田の観光等への支援を行った。 ○市民農園の運営により、市民が農作業に関わりやすい環境を整備している。また、サポート型市民農園も開設し、農地最適化推進委員による指導付きの体験型市民農園もオープンしている。 ・利用実績＝258区画、193名	①棚田オーナー制度等を行い、姨捨棚田を守るとともに、保存団体への支援を実施している。また、東京都の中学校や都内観光会社のツアーも棚田農業体験に参加し、多様な担い手に対し棚田が活用されている。 ②大田原農業体験(そば)、小船山農業体験(たまねぎ)等により農業への理解が促進されている。また、あんず狩やあんず加工体験も実施を継続している。 ③市民農園や各種体験の開催により農業体験の機会の増加が図られている。	良		
		②その他のグリーン・ツーリズムメニューの促進					観光交流課	○あんず狩モニター体験 2回 述べ18名 ○あんずシロップ漬体験、あんずジャム作り体験 14回 延べ208人
		③農業体験、学習機会の設置						
	(6) 観光との連携による都市農村交流の創出と地域活性化	①都市農村交流の活性化	LP16 P71 温泉地を利用した農業体験宿泊プログラムの開発 農林課	○東京都の中学校（晴海中学校）を姨捨の棚田オーナー制度に受入れ。 ○都内観光会社（クラブツーリズム）を棚田農業体験に受入れ。 ○姨捨の棚田のガイドブックを更新・増刷し、市内施設、県外イベントにおいて配布・設置、棚田の観光等への支援を行った。	①あんず狩りや各種農業体験により県外の来客者と地元農家の交流が図られている。さらなる拡充取り組みが課題。 ②棚田オーナー制度において団体の受け入れを行っている。他の農業体験では規模の問題があり、大きな団体の受け入れ実績がないが、規模に見合った個人客や少数の団体客を集客することも必要。	可		
		②団体利用による農業体験の受け入れ					観光交流課	○あんず狩モニター体験 2回 述べ18名 ○あんずシロップ漬体験、あんずジャム作り体験 14回 延べ208人 各イベントで、実際にどれくらいの人数が宿泊(滞在)につながっているのか把握が出来ていない。

平成29年度 千曲市食料・農業・農村基本計画実施状況

施策名	取り組みの方向性	具体的取り組み名 (リーディングプロジェクト)	29年度実施状況	H29年度時点での総合評価及び課題	評価
-----	----------	----------------------------	----------	-------------------	----

評価	内容
優	計画以上に実施されている
良	計画どおり実施されている
可	不十分な部分もあるが、最低限実施されている
未	未実施

用語の説明

番号	用語	解説
1	エコファーマー	平成11年に施行された「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業生産を計画し、知事の認定を受けた農業者のこと。 エコファーマーになると、農業改良資金の貸付に関する特例措置として、償還期間10年（内据置期間3年）から12年（同3年）まで延長されるほか、導入計画に基づき生産された農産物に添付するシールや包装容器、チラシや名刺などに「エコファーマーマーク」を表示することが可能
2	環境保全型農業	農水省の定義では、「農業の持つ物質循環機能を生かし、生産者との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて科学肥料、農薬使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業」となっている。
3	HACCP	Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。食品のなかに潜む危害（生物的、科学的あるいは物理的）要因（ハザード）を科学的に分析し、それが除去（あるいは安全な範囲まで軽減）出来る過程を常時管理し記録する方法。
	GAP	Good Agricultural Practiceの略。農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。